

旅館及び公衆浴場における レジオネラ症防止対策講習会



福島県県中保健所
衛生推進課環境衛生チーム

講習会の目的

〈目的は大きく3つ！〉

- レジオネラ症、レジオネラ属菌について知る
- 自分の施設で必要な管理を確認
- 具体的な管理の方法、手順を確認



レジオネラ症の予防

本日の内容

1. レジオネラ症とは
2. レジオネラ属菌とは
3. 適正なレジオネラ属菌等検査について
4. 浴室の洗浄及び消毒について（日常管理）
5. レジオネラ属菌が検出された場合の対応について

1. レジオネラ症とは

- 「レジオネラ属菌」という細菌によって起こる感染症。
- 国内では、入浴施設等が発生源となった事例の報告が多数あり、死亡者も発生している。
- レジオネラ症の病型は、重症型の「レジオネラ肺炎」と軽症型の「ポンティアック熱」の2つに分けられる。
- ヒトからヒトへは感染しない。

1. レジオネラ症とは



●レジオネラ肺炎

潜伏期間：2～10日

高熱、悪寒、筋肉痛、下痢、意識障害などを主な症状とする肺炎
病状の進行は速く、適切な治療がされない**と死亡**することがある

乳児、高齢者、病気にかかっている人など、**抵抗力の弱い人が発症**
しやすい

●ポンティアック熱

潜伏期間：1～2日

突然の発熱、悪寒、筋肉痛などのインフルエンザに似た症状
多くは、数日で症状が軽快する

1. レジオネラ症とは

●主な感染経路

- ▶ レジオネラ属菌に汚染された水の誤嚥（ごえん）、エアロゾルを吸い込むことによる感染

代表的な発生源：循環式浴槽、冷却塔、加湿器（超音波式） など

- ▶ レジオネラ属菌を含む粉じんを吸い込むことによる感染

代表的な発生源：農作地、庭、泥だらけの器具や車 など

2. レジオネラ属菌とは

●生息場所

土壌、河川、湖沼など自然界に広く生息

●繁殖温度

20℃～50℃（36℃前後が最も繁殖しやすい温度）

→循環式の浴槽、温泉・プール施設、加湿器、冷却塔で繁殖しやすい

●特徴

アメーバなどの原生動物に寄生して繁殖する

ヒトに感染した場合、肺胞マクロファージで繁殖する

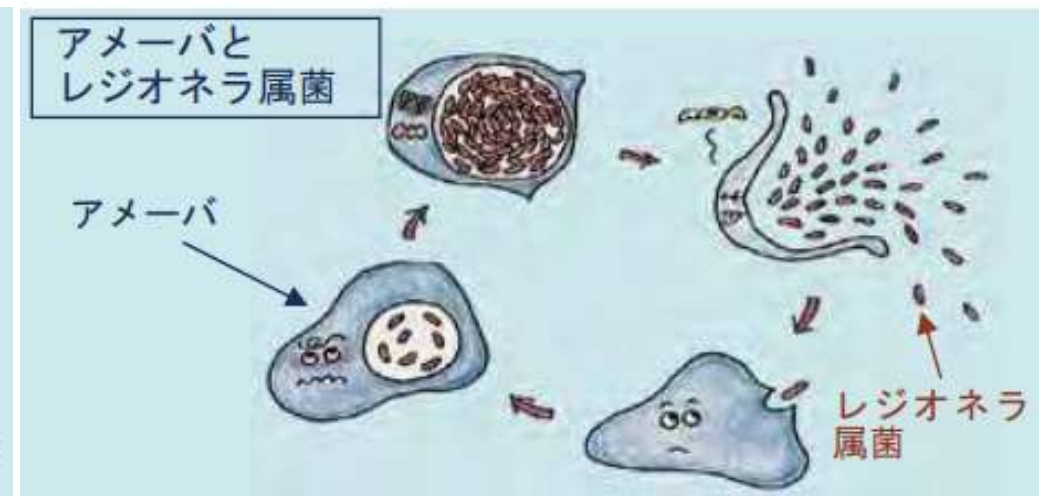
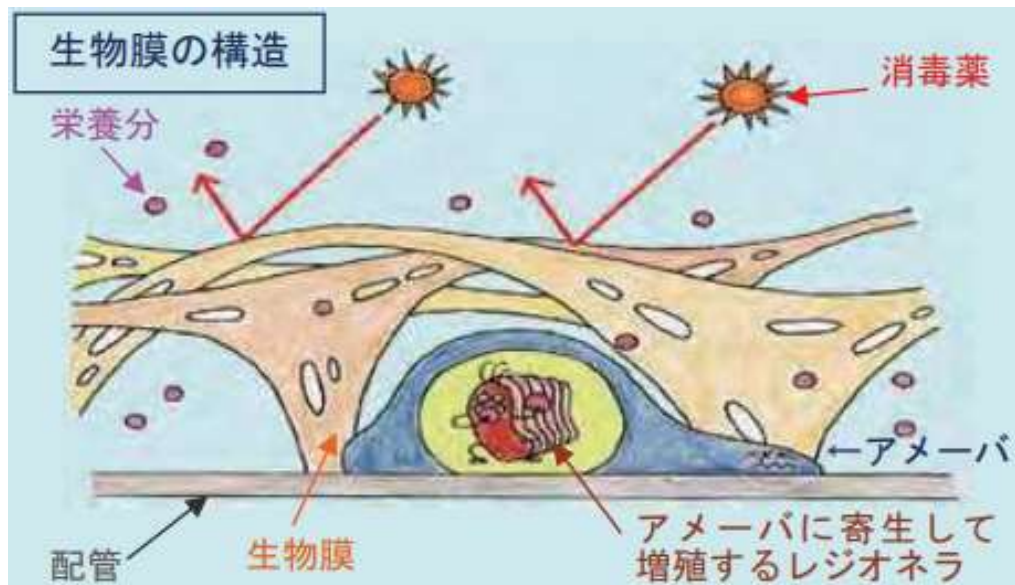
2. レジオネラ属菌とは

●繁殖方法

生物膜内で原生生物（アメーバなど）に寄生し繁殖する

※生物膜：壁面などに付着した微生物が作り出した粘液性のある物質で形成される「ぬめり」のこと。バイオフィルムとも呼ばれている。

生物膜内は栄養分が豊富で、消毒薬による殺菌作用から保護される



出典：「公衆浴場・旅館業・プール施設管理者のための
レジオネラ症防止自主管理マニュアル」（東京都）